

第5章 ベンチャー支援部門の活動

はじめに

ベンチャー支援部門長 野 嶋 琢 也

2020年度の年報を刊行するにあたり、電気通信大学ベンチャー支援部門における各種活動への関係各位のご理解とご協力を心から感謝します。

大学では日夜新しい技術やサービスが生み出されています。そして新しい技術やサービスを社会に還元するためには、現代あるいは少し先の未来の社会を念頭に、その社会に適合する形に育てることが必要となります。スタートアップ企業には、そのような技術・サービスを、社会経済活動に乗せ、持続的に大きく育てるという重要な役割が期待されています。このような活動に対して本部門は、大学という特性を活かし、人材ならびに環境という側面から支援をおこなっています。

まず人材育成の観点から、教育面に力を注いでまいりました。技術・サービスを育てる意欲・技術力を有する人材育成を目標に、『ベンチャービジネス概論』（学域）、『ベンチャービジネス特論』（研究科）という講義を開催し、学生に起業に関する知識を伝え、起業意欲を刺激してきました。

環境面の充実にも力を注いでおり、起業準備をする教員・学生や、電気通信大学発認定ベンチャー企業に対し、プレインキュベーションルームやコワーキングルーム、ベンチャー育成支援ルーム等の活動場所を提供しています。そしてUECアライアンスセンターには、先述のインキュベーション施設で各々の事業を発展させた電通大発ベンチャー企業が多数入居しています。企業活動を行うための場所を提供し、先端研究と企業活動が出会う機会を整えるということを通じて、スタートアップ企業の活動を支援しています。

また、昨年は、コロナ渦の為にオンラインで開催された「第16回産学官連携DAY 今年もwebで!～電通大の産学連携の今を一挙公開～」にて、電気通信大学発認定ベンチャー企業の活動紹介を3社に絞り発表させて頂きました。1社目は、株式会社deltafiber.jp様にご登壇いただき、「会社概要、取り扱い製品の紹介とWithコロナ社会に向けて」、2社目は、株式会社ChiCaro様より「With コロナにおける事業拡大戦略」、3社目は株式会社ハートビーツ様より「MSP事業と新型コロナ対応」と各社コロナをテーマに充実した内容の発表となりました。

例年行われている『UECものづくりコンテスト』については中止となりましたが、来年度の開催に向けて準備する期間と位置づけ、学生や教員と企業とが出会う新たな機会を整えることを念頭に、リニューアルを企画検討中です。

本年報では、本部門の活動目的となるアントレプレナーシップ人材の育成、本学発の研究成果を活用したベンチャービジネスを創出するインキュベーション支援の2020年度の活動について、ベンチャー教育及びベンチャー支援の2面から報告します。今後も、学生のベンチャーマインドの育成、電通大発ベンチャーの創出・支援に努めてまいります。引き続きみなさまからのご協力をよろしくお願いいたします。

●ベンチャー支援部門の報告

ベンチャー支援部門の活動目的は、アントレプレナーシップ人材の育成、本学発の研究成果を活用したベンチャービジネスを創出するインキュベーション支援である。2020年度に実施したベンチャー支援部門の活動について、ベンチャー支援およびベンチャー教育の2面から報告する。

5-1 ベンチャー支援

5-1-1 電気通信大学認定ベンチャー企業等一覧

| No | 企業名 | 代表者 |
|----|-------------------------------|-------------------|
| 1 | (株) スマート エーイー | 鎌倉 友男 |
| 2 | (株) ナノテコ | 岡野 年雅 |
| 3 | (株) MNU | 雪本 修一 |
| 4 | (株) ワイヤレスコミュニケーション研究所 | 尾崎 鋭一 |
| 5 | (株) 早川地震電磁気研究所 | 早川 正士 |
| 6 | (株) ChiCaRo | 山内 直子 |
| 7 | 群青デザインシステムズ合同会社 | 伊賀井 清史 |
| 8 | ACH2テクノロジーズ (株) | 清水 巖 |
| 9 | (株) MTMシステムズ | 城野 遼太 |
| 10 | (株) CodeNext | Khan Md. Mahfuzus |
| 11 | (株) ビー・ストーム | 志村 則彰 |
| 12 | 感性AI (株) | 虻川 勝彦 |
| 13 | NPO法人 uec サポート | 安部 博文 |
| 14 | TCC Media Lab (株) | 菊池 功 |
| 15 | (株) メルティンMMI | 粕谷 昌宏 |
| 16 | (株) ハートビーツ | 藤崎 正範 |
| 17 | (株) voiceware | 田村 一起 |
| 18 | (株) キャンパスクリエイト | 安田 耕平 |
| 19 | 対話型メディア技術研究所 (株) | 佐藤 暖子 |
| 20 | (株) Photonic System Solutions | 増川 佐知子 |
| 21 | レッドインパルス (株) | 高橋 健 |
| 22 | (株) Dream Seeds Connect | 吉木 祐三 |
| 23 | (株) インフォクラフト | 荒川 淳平 |
| 24 | プラスワッチ (株) | 日下部 正秋 |
| 25 | (株) Mu-BORG | 横井 浩史 |
| 26 | (株) インターメディア研究所 | 吉田 健治 |
| 27 | マルチポート研究所LLP | 矢加部 利幸 |
| 28 | Umee Technologies (株) | 新納 弘崇 |
| 29 | 株式会社 delterfiber.jp | 石原 信之 |
| 30 | フローライト・テクノロジーズ株式会社 | 若林 康一 |
| 31 | ABN 合同会社 | 石橋 卓郎 |
| 32 | 株式会社 Medical Optfellow | 松田 謙 |

5-1-2 電気通信大学認定ベンチャー企業等の成果

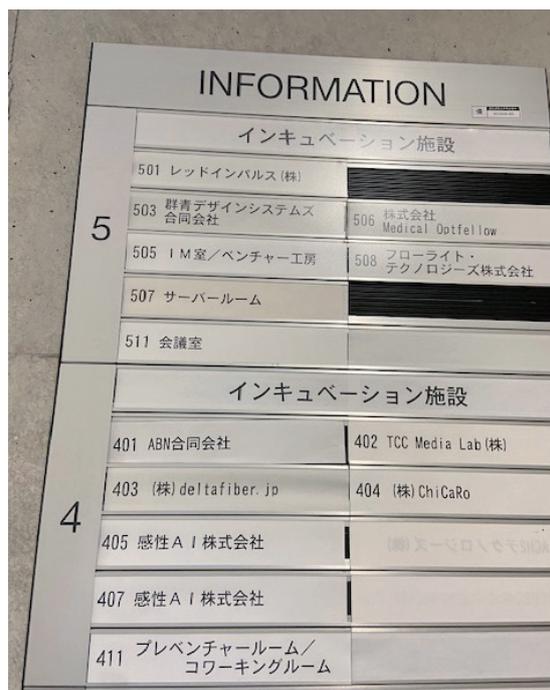
本学発ベンチャー認定企業32社の2020年度の売上高合計は、18億円である。雇用者数の合計は、271名である。

5-1-3 認定ベンチャー企業の入居する西11号館（イノベティブ研究棟）の様子

ベンチャー支援部門では、認定ベンチャー企業や起業を志す本学教職員や学生（本学の身分を失ったものを含む）が活動を行うための場所として、インキュベーション施設を提供しています。

本施設は、本学西地区の西11号館（イノベティブ研究棟、コンクリート5階建て）の4階と5階に位置しており、ベンチャー育成支援ルーム、プレインキュベーションルーム、コワーキングルーム、サーバールーム及び会議室から構成されています。

先端研究と企業活動が出会う機会を提供することで、本学で開発されたシーズや研究成果、或いは、習得した知識を活用したイノベーションが、社会経済活動に還元されることを目的としています。



▲電気通信大学認定ベンチャーの入居する西11号館の様子。

5-1-4 第16回産学官連携DAYにおける認定ベンチャー企業の活動紹介

| | |
|----|---|
| 日時 | 2020年7月29日（水） 9:50～16:15 |
| 会場 | オンライン Zoom開催 |
| 主催 | 国立大学法人電気通信大学 |
| 後援 | 一般社団法人日黒会（電気通信大学日黒会） 株式会社キャンパスグリエイト（電気通信大学TLO） 電気通信大学産学官連携センター事業協力会 多摩信用金庫 |

紹介会社によるプレゼンテーション（講演順に記載）

1. 株式会社deltafiber.jp（2019年度認定）

『会社概要、取り扱い製品の紹介とWithコロナ社会に向けて』

代表取締役 石原信之氏

取締役 戸丸 暁氏

（電気通信大学インキュベーション施設入居企業）

2. 株式会社ChiCaRo（2017年度認定）
『MSP事業と新型コロナ対応』
R&D事業部長兼執行役員 奥温子氏
(電気通信大学インキュベーション施設入居企業)

3. 株式会社ハートビーツ（2009年度認定）
『MSP事業と新型コロナ対応』
代表取締役 藤崎 正範氏

方 法 1社15分、スライドを用いた自社紹介ライトニングトーク

5-2 ベンチャー教育

5-2-1 ベンチャービジネス (VB) 特論・概論

ベンチャービジネス特論は大学院博士前期・後期課程の学生を対象に前学期に実施するキャリア教育科目に位置付けられる授業である。授業の目的は受講生に企業家精神やマネジメント知識を伝えることである。

ベンチャービジネス特論（前期2単位） 博士前後期対象 180名

ベンチャービジネス概論（前期2単位） 学部3年生対象 246名

教員は安部博文特任教授である。



▲ 2020年7月のベンチャービジネス特論の授業風景